

早川純暉

(野球)

東日本国際大学

船

橋中学校時代は県選抜チームのエースだったこともあり、多くの高校から誘いを受けた。そんな中で、「自分で歴史を創る」という点に魅かれ、創部2年目だった光英VERITASの門をたたいた。1年春から登板経験を

積みエースナンバーを託され、1期生が最高学年となった2年生の夏は注目される存在に成長していた。しかし、大事な開幕戦直前に自らの不注意で足をケガしてしまい登板ができなかった。先輩たちに申し訳ない」と悲嘆にくれた苦

い思い出だ。

満を持して臨んだ最後の夏は、課題だった下半身を使って投げるフォームが固まり調子は上々。3回戦の東海大市原望洋との対戦では1失点に抑える見事な投球を披露したが、0-1で敗退。甲子園を目指した高校野球生活は終わりを告げた。それでも、早川にとつてわずかな救いは、2年秋に出場した松戸市内大会で専修大松戸を破って優勝したことだ。

NEXT STAGE 2025 春 未来への飛翔

「小さい大会でも公式戦。初優勝という足跡はチームの歴史に刻めたと思う。」

野球を始めた時から
の夢であるプロ野球への
道は、大学野球で鍛えて
から4年後以降の目標
へと持ち越す。納得のい
くボールを投げるには、
下半身主導で後から自
然に上半身が動いて腕
が振れるようなフォー
ムが理想だ。モットーは
「ピンチでも笑顔忘れ
ない」こと。この先、ど
んな試練が待ち受けよ
うとも、プラス思考で頑
張るつもりだ。

1年生から投げ続けたエース
4年後のプロ入り目指して進学



光英VERITAS 高等学校

<https://www.veritas.ed.jp/>

最新情報など詳しくはこちら
光英VERITAS 公式HP



〒270-2223 千葉県松戸市秋山600



0800-800-8442 (入試広報室直通)